

SDGsを目指す農林水産業の未来のために

近畿大学アグリ技術革新研究所 第11回オープンセミナー

2019年**11**月**8**日（金）

16:30～17:30

近畿大学農学部 **302**教室

入場無料
申込不要



講師 | 三木 大介

Shanghai Center
For Plant Stress Biology,
Chinese Academy of
Science,
Principal Investigator

植物のゲノム編集：何ができるようになったのかと農作物への実用化に向けて

近年、地球を取り巻く環境は大きく変化しており、世界規模において毎年20～40%もの農作物が、病虫害や環境ストレスにより損失している。農作物の損失を防ぎ、効率的に食糧増産を行うためには、従来の育種法に変わる飛躍的なイノベーションが望まれる。そのためゲノム編集の分子ツールとしてZFN、TALEN、CRISPR/Cas9といった配列特異的ヌクレアーゼ (Sequence Specific Nuclease: SSN) が、高等植物において広く用いられている。しかし、SSNは遺伝子機能を欠損させた変異体を作成することしかできない。我々は、CRISPR/Cas9とドナー配列を併用し、ゲノム上の標的配列へのDNA配列の導入や、アミノ酸置換を行う遺伝子ターゲティングにシロイヌナズナで成功した。本セミナーでは、高等植物におけるゲノム編集と、今後の農作物への応用について考察する。

世話人 | 川崎 努 近畿大学アグリ技術革新研究所 教授)
お問い合わせ | t-kawasaki@nara.kindai.ac.jp